

## 第5学年1組 国語科学習指導案

指導者 弘前市立朝陽小学校 鎌田憲明

1. 単元名 事例と解説をもとに筆者の考えを読みとこう

2. 本時 令和7年5月20日(火) 第3校時 5年1組教室

3. 本時の目標

- ・事例と解説、主張などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。
- ・事例と解説に気をつけながら異なる見方や筆者の主張について考えることができる。

4. 本時の展開

段階	学習活動と内容	○指導上の留意点・評価
見通す	<p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <div>(めあて) 事例と解説、主張を区別して、本文全体を読み取ろう。</div>	<p>○導入として、ロイロノートを使って本文全体の組立を確認する。</p> <p>・本文全体の組立を考えて並べ替えることができたか。(思・判・表)</p>
さぐる	<p>2 事例と解説、主張を区別して整理する。</p> <p>(1)「事例」「解説」「主張」の語句の意味を確認する。</p> <p>(2)事例と解説、主張を区別しながらまとめる。</p> <p>(3)班ごとに意見を共有してよりよいまとめを考えた後、全体でも発表する。</p>	<p>○教科書を参考に発表させる。</p> <p>○ロイロノートのシンキングツール(フィッシュボーン)を使って、構造的にまとめさせる。</p> <p>・フィッシュボーンの内容(思・判・表)</p> <p>○班でまとめた意見を全体で共有して、意見を発表させる。</p>
振り返る	<p>3 本時の学習をまとめ、振り返る。</p> <p>(1)学習のまとめをする。</p> <div>(まとめ) 事例は具体例、解説は伝えたいことをわかりやすく説明、主張はもっとも伝えたいことである。</div> <p>(2)振り返りをする。</p>	<p>○本時で学習した語句を使ってまとめていく。</p> <p>○感想だけでなく、授業で勉強になった内容や友達の意見で参考になったことなどを発表して次に生かす。</p>

単元名	事例と解説をもとに筆者の考えを読みとこう	7 時間
つけたい言葉の力	<p>○原因と結果などの情報と情報との関係について理解すること。(知識及び技能)</p> <p>○目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事例と解説、主張とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。(思考力・判断力・表現力等)</p> <p>○事例と解説、主張などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。(思考力・判断力・表現力等)</p> <p>○目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。(思考力・判断力・表現力等)</p>	
言語活動	<p>○事象を説明したり主張を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。</p> <p>○説明や解説などの文章を比較するなどして読み、分かったことや考えてことを、話し合ったり文章にまとめたりする活動。</p>	
学習課題	○事例を言葉で表したり、理解したりするさまざまな事例とその解説を読むことをとおし、表現や理解と言葉のはたらきとの関係について発見を促し、考えを深めさせる。	
主な学習活動	<p>○ロイロノートを活用し文章全体の組み立てを確認する。</p> <p>○ロイロノートを活用して文章を事例や解説、筆者の主張を分けて整理する。</p>	
評価の観点	<p>○文章全体の組み立てをつかんでいる。</p> <p>○事例や解説、筆者の主張を区別し、整理する。</p> <p>○本文を読み、考えたことについて筆者の主張や身近な事例について書く。</p>	

時	内容	活動（子どもの活動）	ポイント（教師の支援）
1 (本時)	見直しをも	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本文を読む。</li> <li>・本文全体の組立を確認する。</li> <li>・めあてを確認し、本文の組立を「事例」「解説」「主張」に分け、班、全体で共有する。</li> <li>・まとめと振り返りをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PC で簡単な組立について並べ替えを行う。</li> <li>・PC で本文全体をまとめていく。</li> </ul>
2 ・ 3	たしかめる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「事例」について考え、事例について整理する。</li> <li>(1) 自分たちの経験から「事例」とはどのようなことだと思うか伝え、本文を読んで確認する。</li> <li>(2) 三つの事例から、言葉と事例について、起こったこと、大切なこと、必要なことについて表にまとめる。</li> </ul> <p>*黒板に提示する表は、次時の学習にも用いるため、模造紙などにまとめると活用しやすい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PC 使ってわかりやすくまとめる。</li> </ul>
4 ・ 5	くわしくよむ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整理した表をもとに、三つの事例のつながりについて考え、筆者が事例と解説をとおして「言葉」と「事例」がどのような関係にあると述べているか、話し合う。</li> </ul> <p>*事例 1 はうそつき少年の話、事例 2 は学級新聞、事例 3 は アメリカのデパートである。事例のあとには解説が書かれていることに気づかせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提出したデータをもとに話し合う。</li> </ul>
6 ・ 7	まとめる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「言葉と事実」を読んで考えたことについて、筆者の主張や身近な事例に気を付けて書く。</li> </ul> <p>*筆者に共感、納得したところは、本文に線を引くようにするとわかりやすい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・線を引いた箇所を共有することで、書く活動の参考にする。</li> </ul>
8	つたえあおう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉で事実を表すことについての考えを発表し合い、言葉と事実の関係や事例に気をつけながら話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の経験をもとに話し合わせる。</li> </ul>
9	ふり返る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の考えを読み取る活動や、言葉と事実の関係について 自分の考えをまとめる活動で、どのようなところに気がつけたのか振り返る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者のどの考えについての意見をわかりやすくまとめられるように工夫する。</li> </ul>